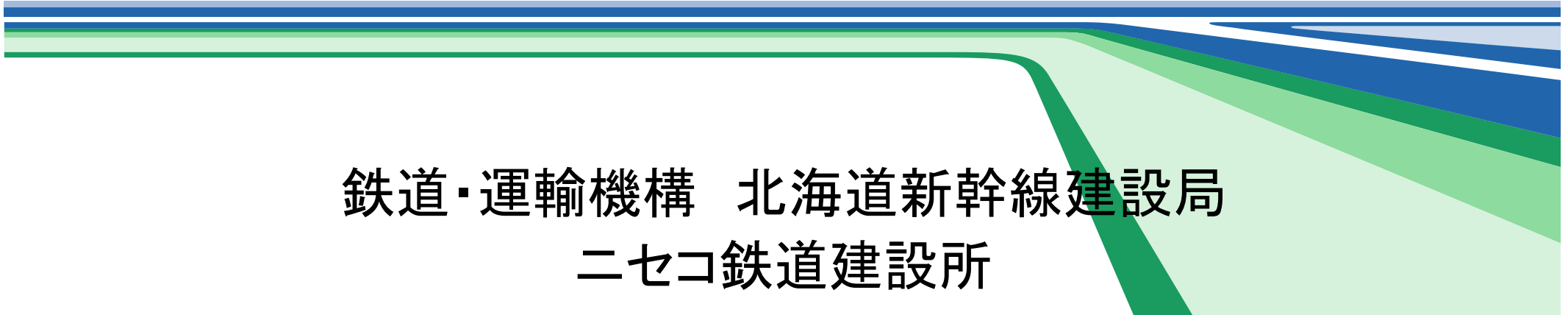


# ニセコ町最終処分場敷地内における 新幹線トンネル土砂の搬入・盛土について



鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局  
ニセコ鉄道建設所

豊里地区のニセコ町最終処分場敷地内に、羊蹄トンネル（有島）工区の施工により発生する、トンネル発生土を搬入し、盛土造成工事を行う計画です。

工事数量：盛土 約45～50万m<sup>3</sup>  
（発生土のほぐし土量により変化します）

工事期間：準備工 令和2年10月～令和3年7月  
盛土工 令和3年8月～令和6年3月  
仕上工 令和6年4月～令和6年11月  
（特に盛土工・仕上工の工事期間は、  
トンネル本体工事の進捗により延長する場合がございます）

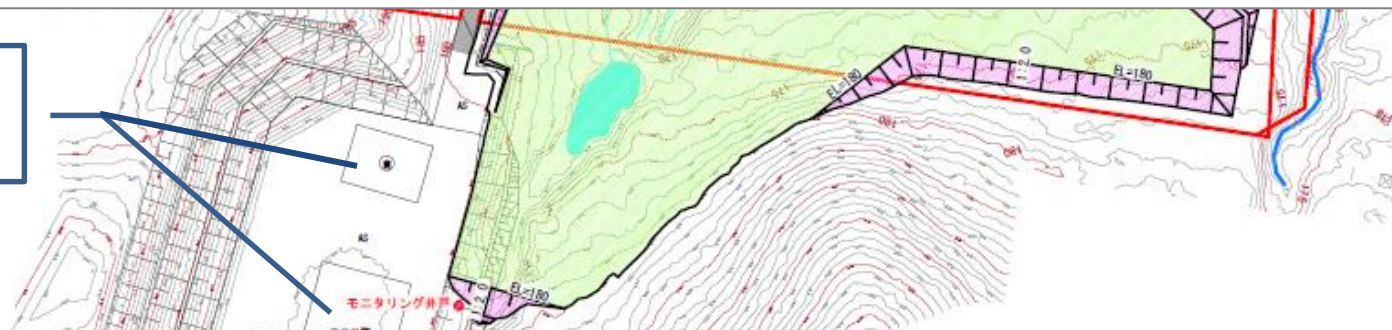
# 盛土計画図

道道三ノ原  
二セコ線



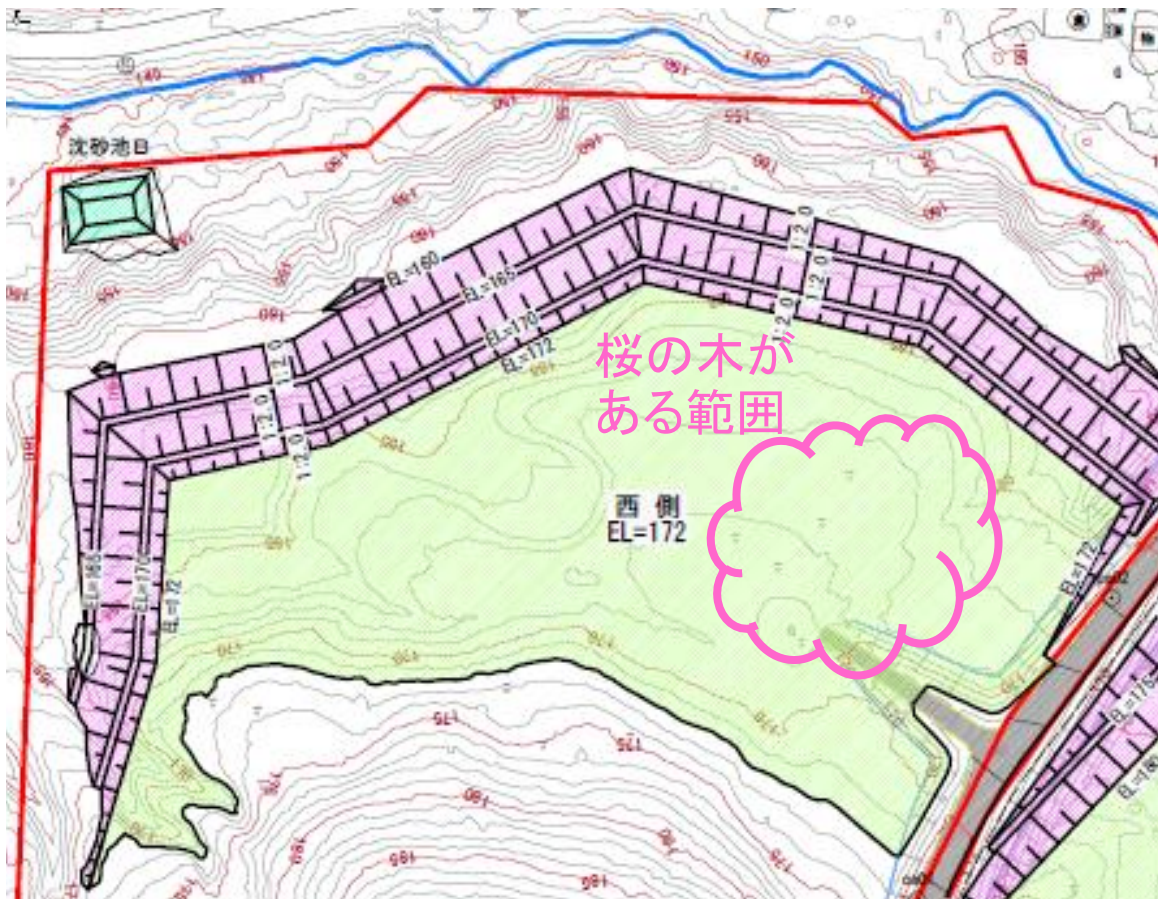
- ・**ピンク色の部分**は法面で、2割勾配(約30度弱)を予定しています。  
※通常の盛土に比べ、勾配を緩く設計し、安全性を考慮しています。
- ・法面部分は、最終的に種子吹付などで緑化保護いたします。
- ・処分場北側の**河川(タクベツ川)**は改変せず、現状を維持します。
- ・**黄緑色の部分**は造成平面です。ほぼ平坦地となります。

処分場建屋





# 盛土計画図(西側詳細)



- ・現地盤から5～10m程度盛土します。
- ・処分場に向かう道と、ほぼ同じ高さになります。
- ・以前、植樹された桜の木は、移植する方向で検討中です。

現在、

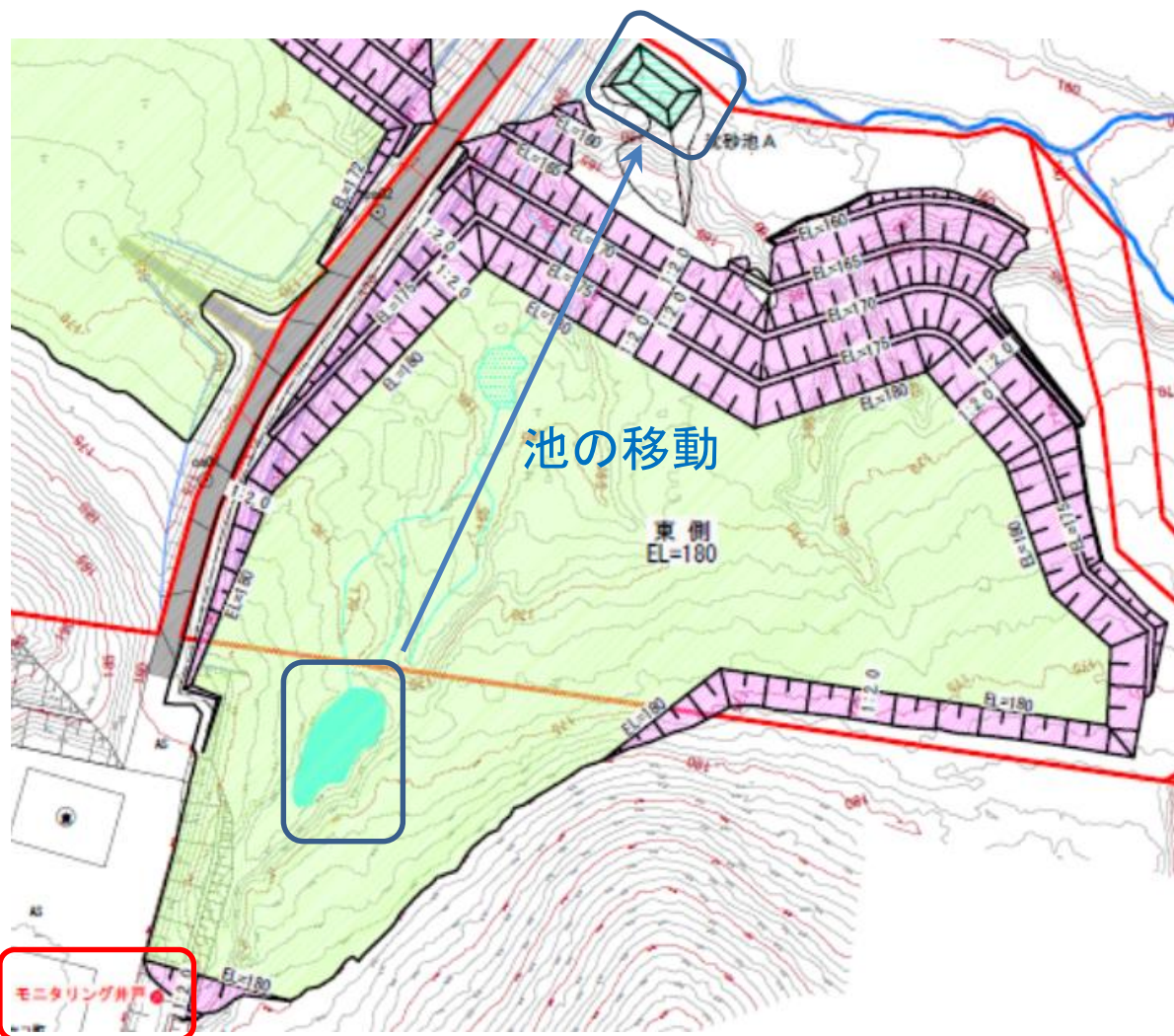
○桜の健康状態

○移植場所

について確認・検討中です。

移植できる場合、今年10～11月に移植いたします。

# 盛土計画図(東側詳細)

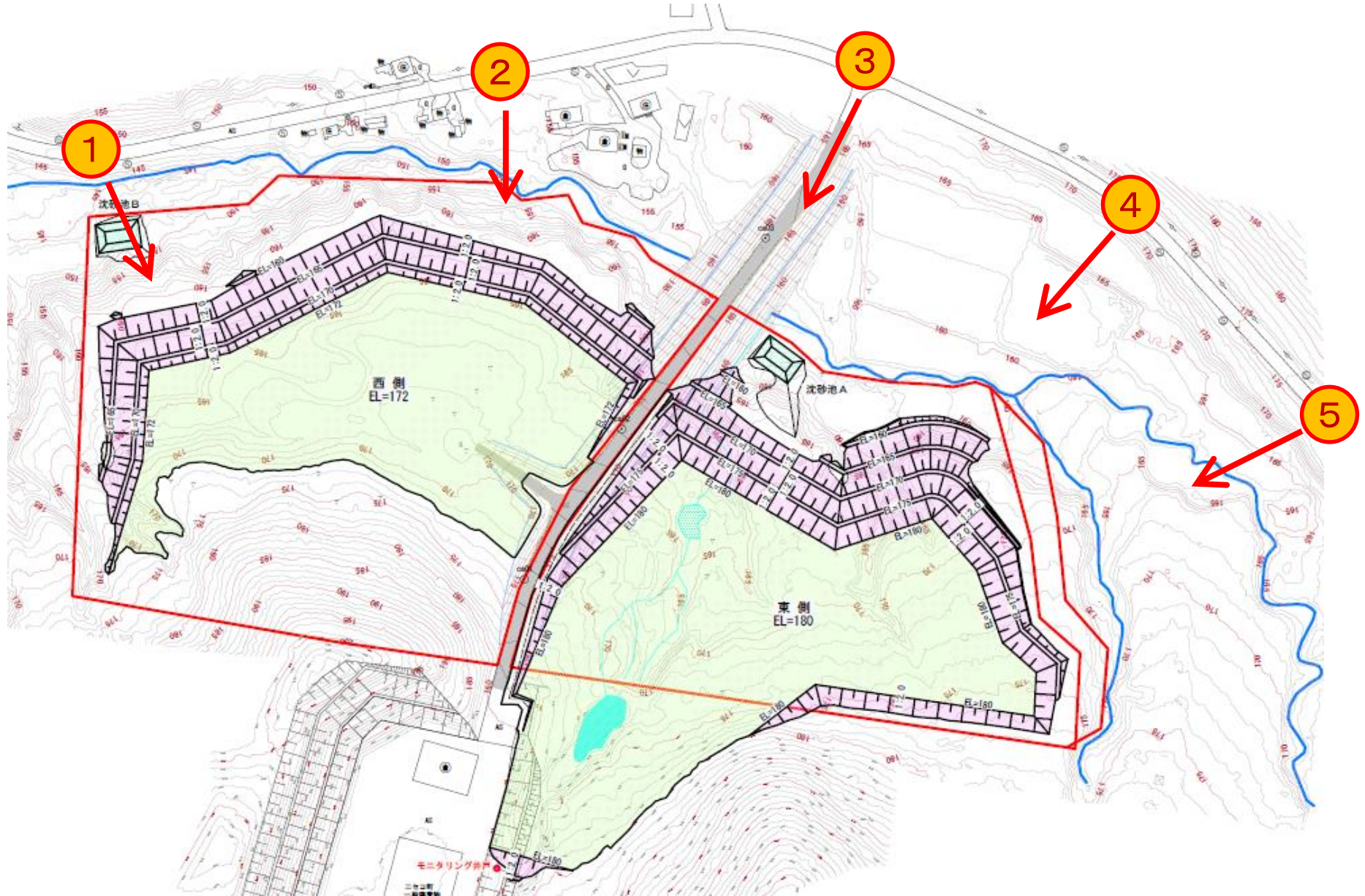


井戸は残します

- ・現地盤から5～20m強盛土します。
- ・トンネル発生土のほぐし土量により、最終高さが変わる可能性があります。(この図より2～3m程度高くなる可能性があります)
- ・**処分場のモニタリング井戸**は、現状のまま維持いたします。
- ・現在の池は盛土いたしますが、盛土前に下流側に沈砂池の整備を進め、水ごと引っ越すことで、現在の池の貯水機能の維持や、ここに住む動物(エゾサンショウウオなど)の保全に努めます。  
この沈砂池は工事完了後も残すことを考えています。
- ・既存の沢は**暗渠化**いたします。



# 盛土計画図(イメージ)





# 盛土計画図(イメージ)

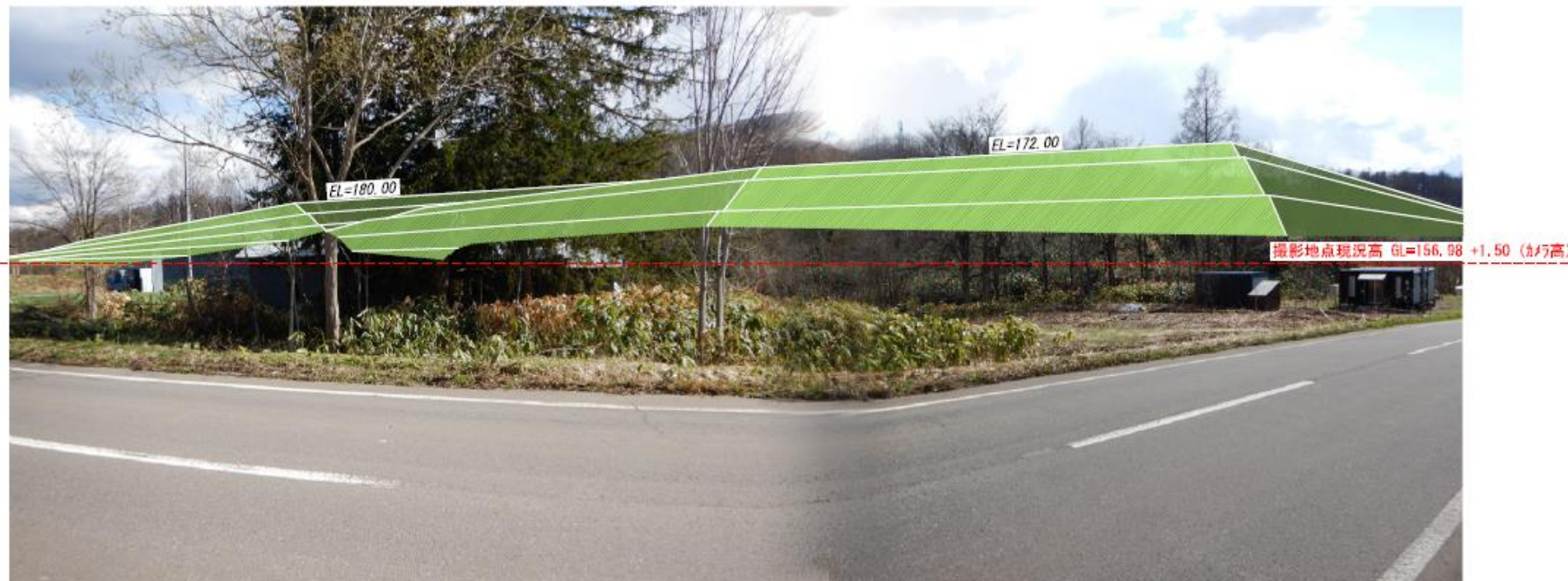
①



- ・盛土は緑色です。
- ・実際は手前に木がたくさんあるので、この図ほどは目立たないと考えています。  
(紙で印刷されているほうが、実際の見え方に近いと考えています。)

# 盛土計画図(イメージ)

②



- ・盛土は緑色です。
- ・実際は手前に木がたくさんあるので、この図ほどは目立たないと考えています。  
(紙で印刷されているほうが、実際の見え方に近いと考えています。)



# 盛土計画図(イメージ)

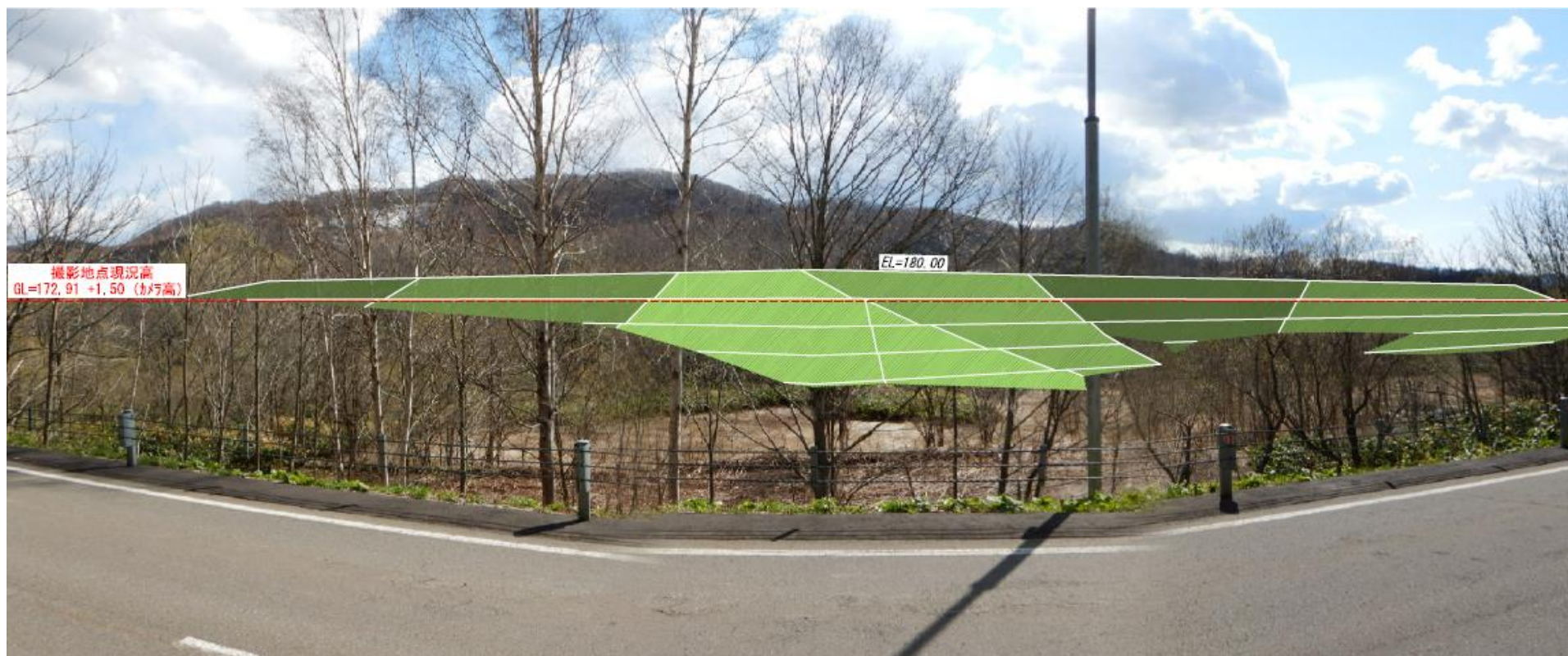
③



- ・盛土は緑色です。
- ・このあたりから、道道が高くなるので見え方(印象)が変わります。

# 盛土計画図(イメージ)

④



- ・盛土は緑色です。
- ・道道との高低差が減り、距離も遠くなるので見え方が変わります。



# 盛土計画図(イメージ)

⑤



- ・盛土は緑色です。
- ・道道との高低差が減り、距離も遠くなるので見え方が変わります。